

令和6年度 経営発達支援計画事業 報告書 [事業 NO.1]

小規模企業景気動向調査 第3四半期 (R6年10～12月)

①業種及び地域別景気動向

業 種		製造業		建設業	卸・小売業			サービス業		
		食料品 等	機械 金属		耐久消費 その他	食料品	外 食	旅館	理美容 その他	運輸
町 内	売 上 額	↗☀	↗☼	↘☂	↗☼	↘☂	↗☀	↗☼	↘☼	→☂
	仕入単価	→☂	↗☼	↘☂	↗☼☂	→☂	→☂	→☂	→☂☼	→☂
	採 算	↗☀	↗☼	→☂☼	↗☼	↗☼	↘☂	↗☼	→☂☼	→☂
	資金繰り	↗☀	↗☼	→☂☼	↗☼	→☼	↗☼	→☼	→☂☼	→☂
	業界の業況	↘☂	↗☼	↘☂	↗☼	↗☀	↘☼	→☼	↘☂☼	→☼
北 信		↘悪化		→不変	↘悪化		↗改善	↗改善		↗改善
県 内		足踏み状態が続いた								
全 国※		↗-23.3		↗-8.8	↗-30.6		↘-14.4		↘-20.2	↗3.1

(※ 景況 DI 値で表示、+値が大きいほど好調)

② 景気動向報道及び特記事項

《町内》

水道光熱費の負担が顕著に増している（飲食店）

昨年度の同時期に比べ売り上げが減少傾向である。コストアップによる工期の遅れが多い（建築業）

同業他社の廃業により取引が増えたが採算の合わないことが多い（農機具販売）

米について品薄のためか、通常は卸さない店舗や個人客から照会・発注が増えた（食料品販売）

《北信》

受注が減少傾向にあったが、ようやく来年1月頃から増加に転じそう（油圧バルブ）

依然かわらず、円安と物価高騰で住宅は売りにくくなっている。（総合建設業）

夏の猛暑の影響が大きく、商品の出荷が少なかった（花鉢）

値上げを実施し、客単価が上がった。ただし原材料価格は上昇が続いている（飲食業）

《県内》

個人消費は持ち直しの動きが鈍化、生産は一進一退の状態が続いた

《全国》

産業全体：ガソリン補助金の縮小による影響が大きい

製 造 業：前月の改善傾向から一転、足取りが鈍くなった

建 設 業：ガソリン補助金の縮小による影響の長期化が懸念される

小 売 業：継続して改善傾向にあることが窺える

サービス業：徐々に景気が後退している

参考資料：

長野信用金庫「長野しんきん北信経済動向“すかい”」・長野経済研究所「経済月報」・日銀「経済動向」

日本政策金融公庫「全国中小企業動向調査結果」・全国商工会連合会「小規模企業景気動向調査」